

深谷大里看護専門学校の運営 引継ぎと市の対応について

清水おさむ



深谷大里看護専門学校

問 大学誘致に伴う深谷大里看護専門学校の、運営引継ぎに関する市の対応について。引継ぎの時期を平成20年4月に予定しているが、新聞報道によると「看護専門学校は、今年度から市の補助金が打ち切られたため、経営難に陥っている」とある。引継ぎまでの大事な時期であり、市は当専門学校の存続・維持のための経済的支援をすべきである。

答 基本合意事項では「大学を運営する医療法人が看護専門学校を引継ぐまでの間、深谷市は、専門学校の存続・維持のための経済的支援を深谷市・大里郡医師会を行うこと」となっており、合意事項に基づいて支援していきたい。

問 学校の引継ぎに関する基本合意事項では「現在の職員を雇用継続すること」となっている。市は学校引継ぎの相手方に対して、少なくとも現在の待遇や労働条件を下回らないよう申し入れをし、基本合意事項にそのことを明記す

べきである。

答 基本的には医師会と医療法人の協議事項であり、十分な話し合いがなされると思いますが、市は仲介の立場にありますので、「お願い」というかたちで対応していきたい。

〈その他の質問〉

○公共施設における「指定避難所」の安全対策について。
○市民体育祭の競技種目について。

花園インターチェンジ周辺の 道路整備を早急に！

松本博道



主要地方道花園・本庄線

問 ①県道菅谷・寄居線の花園橋から旧140号線の区間は、近年急激な開発により交通量が増し安全面からも、道路側溝布設と歩道整備を早急にする必要があると思うが。

②花園・本庄線の起点旧140号と秩父鉄道の踏切までの区間、道路幅幅による地権者との交渉と今後の見通しは。

③花園IC料金所南側より荒川沿岸一帯までの土地利用計画での位置づけと道路整備は。

答 ①商業施設の進出も著しく安心安全の推進を図るため歩道や側溝の整備を県に要望したところ、本路線は本年度一部側溝を先行し着手する予定

定です。②担当者が道路拡幅の用地交渉をしてきましたが合意に至らず、今後も県と連携しながら進めてまいります。③花園IC周辺は交通の優位性と活力再生に向けた拠点づくりのうえで重要であり、総合振興計画策定の中で十分検討してまいります。

行財政改革推進について

問 職員対象に行ったアンケート調査の結果と概要は。

答 部長以下全職員1197名を対象に実施。回答率約87%、内容は「職員の適材適所の配置・類似した事務事業の統合や縮小廃止・市民の利便性を高める」の回答が多く、平成19年3月に大綱と推進計画を合わせて公表いたします。

問 行政機構改革と総合支所の決裁権限は見直しを図る必要があるのでは。

答 支所機能の組織の見直しも含めて調整を図ります。また本庁と支所で連絡を密にします。

問 現行の児童扶養手当は母子家庭が対象。全国の受給者約82万6千人の88%は離婚を原因としている。所得制限がある範囲で父子家庭を対象にする深谷市独自の考えは？

答 父子家庭の実態を調査し研究してまいります。

住民監査請求の効果なのか？

吉岡信彦



問 合併前の違法分は請求できないとしていたが、監査請求をした本人が市に持参して、市は受領してしまった。請求できないものは受け取ることもできないのではないかと？どこで解釈を変えたのか。

答 世間をお騒がせしたことで柳氏が持参しましたので、柳氏のご意見を尊重しました。

大学誘致は進め方が異常！

問 大学を卒業する看護師の市内定着は限りなく望み薄だ。約9億円とも評価される市有地の予定地を、売るか貸すかの決定もなく、公式な議会承認も受けないうちに調印・記者発表したというのは、議会軽視も甚だしいし、拙速すぎる。なぜそんなに急ぐのか。

答 平成20年4月の開校を目指しているからです。

名誉市民・町民は今？

問 旧市町の名誉市民・町民

〈議会あれこれ「議員も熱が入ります！」〉…9月議会の一般質問は4日間。延べ75人の傍聴者がありました。〈

教育行政について

黒澤昭二

問 小・中学校でプールの安全対策が遅れたのはなぜか。

答 使用開始前の5月に校長会でネジ・ボルトによるふたの固定について確認指導を行っています。今までの調査項目には吸込防止金具については指導がなく、今回の調査指示に従い確認した結果、小・中6校が未設置であり、早急に予算措置を行い設置します。

問 不登校児童の現状とその対策はどうなっているのか。

答 不登校対策としてボランティア相談員の配置、保護者の集い、専門員による家庭訪問等市独自の対策を進めています。児童の無気力、非行、人間関係、情緒混乱、家庭環境等要因は多様化しています。不登校解消に向けて全力で取り組んでおります。

問 小・中学校の教室に暑さ対策として扇風機の設置はできないか。児童生徒たちが勉強に集中できるのか。身体に影響はないのか。

答 校舎、体育館等の地震補

深谷市の独自性を!! 父子家庭に児童扶養手当

加藤温子

問 男女共同参画社会の実現、少子化対策・子育て支援策を進める中で、条例や行動計画・推進プランが策定され、意識啓発・促進が実施されてきた。そこで市内の事業所ほかを対象に実践を評価する表彰制度の実施で、一層の拡大が必要。市の独自性の考えは。

答 事業所等の子育て支援の取り組みについて、周知する必要があります。現段階では、表彰制度は難しいです。関係企業・事業所等に対し機会をとらえ働きかけていきます。

問 強工事等、安全安心の事業に取り組んでおり、財政負担上設置を計画していません。平成18年度は7月11日より20日まで午前中の授業で給食後下校を実施、窓を開け風を通して、水筒持参で水分を補給しており、集中力や体調維持管理に努めています。

問 PTA活動の現状や問題点をどのように把握しているのか。

答 PTAは社会教育団体として教育効果向上、子どもの幸福な学校生活のため独自に活動しています。特に職業を持つ女性の参加が減少傾向にあります。

